

西国巡礼慈悲の道

西国第二十一番

菩提山

穴太寺

「我慢」していますか

住職 穴穂行弘



近頃、怒りやすい人が多
いと聞きます。例えば、電
車の乗務員が乗客から謂わ
れも無い暴行を受けたとい

のではないでしようか。そ
の「ガマン」を辞書で引い
てみると

う事例は、ここ数年で急増
しているそうです。また、
会社などで叱られた時、す
ぐ泣いたり、むくれたり、
逆ギレの果てに会社を辞め
てしまったりと、叱り方を
間違えると、とんでもない
ことになるそうです。
その背景には「ガマン」
が出来ない人が増えている

「我慢」—自己にとらわ
れ、心のおごり高ぶる煩
悩、古くは意地を張って
聞き入れないこと
と最初に出てきました。普
通に私たちが考える、忍耐
強いという「我慢」は、二
番目の意味であったので
す。これによると「我慢」
という言葉は煩惱の一つで
あったと言うことです。

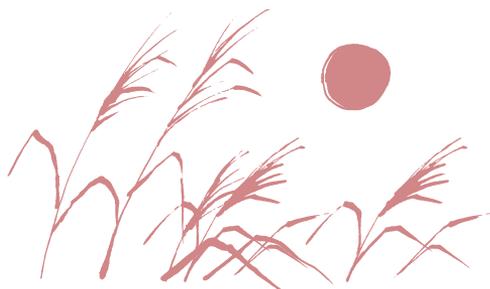
そもそも、仏教では「慢」
という字に、他に対して自

て我が身を振り返らないと
いけません。

らを誇ったり、過大評価し
たり、徳や悟りも得ていな
いのにそうであると思ひ込
んだり、散々な意味をあ
てています。さらには
「憍」という字と合わせて
「憍慢」（きょうまん）、自
惚れともあります。

「我慢」という言葉がい
つ頃から仏教本来の意味を
越えて忍耐や辛抱という意
味に変わっていったのかわ
かりませんが、自分に執着
せず、慢心を戒め、耐え忍
ぶ姿が「我慢」であるとな
るように努めたいもので
す。

ということは、冒頭にあ
るような方々は、立派に
「我慢」が出来ているとい
うことなのでしょう。自
分（我）を大事にするあま
り、逆に執着してしまい、
他人と見比べ、卑下したり
思い上がってみたりと大変
忙しいわけですが、この
「我慢」にとらわれている
人が、現在にはなんと多い
ことか、今一度胸に手を当



西国第二十一番

あなおうじ
菩提山 穴太寺

天台宗

御本尊／聖観世音菩薩 開基／大伴古麿

かかるよに うまれあふみの あなうやと
おもはでたのめ ところゑひとこゑ



✽ 主な年中行事 ✽

- 正月3日 ふくたばえ
福給会
(午後1時より大般若経転読会・護摩供法要のあと福札授与)
- 2月3日 節分会 (星供)
- 3月 春季彼岸会
- 8月9日 お盆精霊迎え
(書院及び庭園無料公開・市平和祭協賛)
- 8月23日 施餓鬼会
(地藏盆、慰霊祭、書院及び庭園無料公開)
- 9月 秋季彼岸会
- 12月31日 除夜の鐘

観音風光

札所の寺院には珍しく、当山は田園の中にひっそりと佇んでおります。そんな田んぼが広がる風景の中、近年秋の彼岸が大変にぎやかです。その理由は彼岸花。元来良い印象を持たれないかも知れませんが、写真の被写体としては良いらしく、その頃の田の畔には真っ赤に咲く彼岸花と共に写真家の皆さんでにぎわいます。

ご詠歌の意味

このような時（末法の世—仏の教えが廃れてしまうという時代）に生まれてしまったと憂い思い悩んでばかりいないで、私たちの声（世の中の苦しみ）を観て聞いて下さる観音さまのお名前をお称えて、その大慈大悲の御心に頼みましょう。

〒621-0029 京都府亀岡市曾我部町穴太東ノ辻46

TEL 0771-24-0809 / FAX 0771-23-6621

納経時間 午前8時～午後5時

西国三十三所札所会ホームページ <http://www.saikoku33.gr.jp>

西国霊場にご参拝の時は納経帳や白衣を忘れずにご持参ください。2回目以降はご参拝の印として重ねて納経印をいただきますよう。